

右中宮御服所料、依前件女官申内侍即付辨官行、

〔江家次第十七〕天皇元服御裝束

殿東西渡殿各第一間南砌立白木案各一脚、註其上置黑漆手洗椽各一口、白巾一條長一丈

〔儀式二〕踐祚大嘗祭儀

次差宮内省史生遣五箇國監作供神雜器、河内和泉兩國一人、尾張參河兩國一人、到國先祓、然

後始作、河内國簡箭二十合、大御手洗盆十八口、瓶十八口、小手洗盆九口、短女坏十六口、湯盆十六口、

〔儀式四〕踐祚大嘗祭儀

願下諸司諸國官符宣旨例中

太政官符諸國每國有符

應造新器 河内國中 大御手洗十八口、小御手洗九口中 已上御料中

以前得神祇官解僞爲供奉大嘗會應須雜物并潔祓具如上件者、國承知、一事以上依例行之、事有期會、不得闕怠、

〔笈埃隨筆十二〕奇婦

近き安永年間に、京一條寺の百姓二人連立柴木を荷ん爲叡山の北の尾横川に近き山中にて、思ふ程柴をして、もはや歸らんとて立上り谷越に向ふを見れば、恐しき異形の者岩上に立居たり、中 一さんに逃下り我家に走り入より、アツと呼び氣絶したり、中 松宗能々見て、中 又庭に大盟を取寄せ、冷水をなみく、と湛へ、彼の齒の根も合す震ひ居る病人を赤裸になし、大勢立懸り彼盟の水中へ押入しかば、中 下

〔書言字考節用集七〕器財角椽ツノダラヒ

〔頭書増補訓蒙圖彙十一〕器用角盤はつのだらひ